

令和4年度 自己評価書

学校名	和歌山市立加太小学校
校長氏名	岩 本 浩 志
作成日	令和4年 2月 14日

1 教育目標

最後までよく考え、心と体の健康を養い、みんなと共にによりよく生きる子供の育成

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	・全国学力・学習状況調査、県学習到達度調査で、正答率の県平均をめざす ・児童がわかる授業、児童主体の授業を実践する(教師90%以上)	・学校が「楽しい」と感じる(児童90%以上) ・「あいさつ」を自分から進んでできる(児童90%以上) ・いじめの解消100%をめざす	・毎日、朝ごはんを食べてくる(児童95%以上) ・体力テストの平均値を、昨年度以上の数値をめざす	・学校の様子がよくわかった(保護者90%以上) ・地域への情報発信が十分行えた(保護者90%以上・他自治会等の声)
重点目標【P】	◎基礎・基本の確かな学力の定着 ◎児童が主体的に学びあう授業づくり ○家庭学習の定着 ○読書活動の推進	◎地域の豊かな自然環境を愛し、保全する精神の育成 ◎道徳教育を柱とした教育活動の充実 ◎自他ともに大切にする教育活動の実践 ○仲間づくり活動の実施	◎基本的生活習慣の確立 ○体力向上の推進 ○危機回避能力の育成	◎地域の教育資源や人材を活用しながら交流活動を継続 ◎幼・小・中の接続の推進 ○ホームページの充実とともに、新設した掲示板によりさらに情報発信
取組の状況【D】	・めあての提示、書く活動を取り入れた授業を行った。 ・放課後フォローアップ、読書タイムについて、1年間継続的に取り組んだ。 ・授業力向上を図るため、テーマをもった授業研究を行った。 ・地域素材を生かした教育活動を充実させ、児童の主体性を育成した。	・地域と積極的に関わり、帰属意識の育成に努めた。 ・「特別の教科道徳」の授業と、全ての教育活動と関連付けながら、効果的な授業をめざした。 ・年間を通して、縦割り活動を大切に活動を行った。 ・「あいさつ」「時間」「きれいに」を合い言葉に指導を行った。 ・川上小学校との交流を行った。	・学年だより等を通じて、保護者に規則正しい生活習慣について呼びかけを行った。 ・幼・小・中合同避難訓練の実施や、その他様々な状況での訓練や学級指導を行った。 ・全学年でのなわとび集会や県の実施するチャレンジランキングなど、児童に意欲を持たせながら体力作りを実施した。	・図書ボランティアによる、図書室の環境整備や読み聞かせを行った。 ・学校便り・ホームページを活用し、子どもや学校の様子を伝えるよう心がけた。 ・学校教育全体に生かしていけるよう、地域の団体・企業等と連携した。 ・「家庭学習の手引き」を配布し、保護者と協力した学習指導を推進した。
取組の成果と課題【評価結果】	・全国学力・学習状況調査、県学習到達度調査において、6年生の結果が平均を上回ることができなかった。 ・無回答率が少しずつ改善され、粘り強く取り組むようになってきている。 ・授業がよく分かったと答えた児童が、肯定的な回答を含めると95%と、目標の90%を上回ることができた。	・学校で「友だちと仲よく過ごしている」と感じる児童は、肯定的な意見を含めると90%以上であり、楽しく学校生活を送れていると読み取ることができる。 ・人権参観や教育講演会を行うことで、保護者への人権啓発を行うことができた。 ・道徳の授業では、少人数であることを生かし、それぞれが意見を出し深め合う授業が多く見られるようになっている。	・毎日朝食を食べてきている児童は90%以上で目標を達成しているといえるが、その内容についても啓発を行ってきたい。 ・「加太っ子スポーツ祭」「加太っ子文化祭」では児童の主体性を大切に取り組み、幼稚園との交流も含め、教育的価値の高いものになったと思っている。 ・体力テストは、50m走、シャトルランに課題が見られる結果であったが、その他の種目は概ね平均値であった。	・保護者へのアンケートで、「教育活動や子どもの様子を分かりやすく知らせている」について90%の肯定的な回答が得られた。 ・コロナ禍ではあるが、図書ボランティアをはじめ、多くの方々が学校に来てくれる機会が増えたことは大変よいことだと感じている。
改善方法【A】 次年度に向けての	・基礎・基本の定着に向けて、日々の授業のレベルアップを図るため授業研究を充実させ、同時に授業規律といった授業の「構え」を大切に学級経営を行えるよう学校全体で取り組みを進める。 ・朝の読書タイムを継続し、図書ボランティアの協力も得ながら文章に親しむ児童を増やせるよう活動の充実を図る。 ・自分たちで学習を進めていく授業形態を取り入れ、学び合いながら学習が進められるようにしていくことで、学習意欲と学力の向上を目指していく。	・児童が日々、楽しく有意義な学校生活を送れるよう、節目ごとの行事はもちろん、授業の中でも成長が感じられる活動を行ってきたい。 ・児童と加太幼稚園児との交流を通して、小1プロブレムの解消や、コミュニケーション力の向上に繋がるような活動を行ってきたい。 ・縦割り活動での学びを大切に、責任感や仲間意識を育て、楽しい学校を創造していきたい。	・「スポーツ祭」や3学期のなわとびなどを通して、児童に運動する大切さや楽しさを感じてもらえるよう取組を充実させていきたい。 ・基本的な生活のリズムの大切さについて、引き続き保護者に働きかけていく。 ・情報モラルについて、正しい知識と理解の定着に向け年間を通して計画的に出前授業などを取り入れていく。 ・朝ごはん、時間を守る、あいさつをするといったことの大切さを、児童だけではなく保護者にも啓発を行いたい。	・地域の文化遺産である獅子舞の継承をはじめ、地域素材を活用した学習を本校の特色として行っていきたい。 ・ボランティア等を呼びかけ、地域や保護者の方々に少しでも協力してもらえるようにしていく。 ・学校だより、ホームページ、掲示板を活用して、学校の教育活動や様子について引き続き発信していくようにする。

3 その他の課題

・児童は落ち着いて日々の学校生活を送ることができている。ただ、不登校や気持ちに余裕のない児童、学習に不安を感じる児童がいないわけではない。児童一人一人に応じた教育活動の充実を、引き続き関係機関等と協力しながら教員一丸となって取り組んでいきたい。
・学校と家庭、地域、専門機関と連携しながら、加太小学校ならではの特色ある取り組みを進めていく。
・タブレットを使った効果的な教育活動について、現職教育などで研修を深めるようにしていく。
・小規模特認校として、地域の素材を活用した特色ある学習環境の整備や教育課程の構築、市内への周知や募集要項の見直しなどは引き続き重要課題である。今後も、地域と教育委員会の協力を得ながら共に連携しながら進めていく。

令和4年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立加太小学校
作成日	令和4年 3月 1日

1 教育目標

最後までよく考え、心と体の健康を養い、みんなと共によりよく生きる子供の育成

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	・全国学力・学習状況調査、県学習到達度調査で、正答率の県平均をめざす ・児童がわかる授業、児童主体の授業を実践する(教師90%以上)	・学校が「楽しい」と感じる(児童90%以上) ・「あいさつ」を自分から進んでできる(児童90%以上) ・いじめの解消100%をめざす	・毎日、朝ごはんを食べてくる(児童95%以上) ・体力テストの平均値を、昨年度以上の数値をめざす	・学校の様子がよくわかった(保護者90%以上) ・地域への情報発信が十分行えた(保護者90%以上・他自治会等の声)
重点目標に対する意見	・来年度も引き続き基礎基本を大切に、確かな学力の定着に向けて取組をお願いします。	・学校は、児童にとって充実した教育活動が行えており、そのことは、とても大切なことであると思います。	・基本的な生活習慣を確立することは、生活の根底をなすもので、とても大切だと思います。	・ホームページの充実、非常によいと思う。新制度(小規模特認校)を知ってもらうことや学校の様子を知らせることに有効だと思います。
意見取組状況に対する	・授業参観等で児童の学ぶ姿勢や楽しそうな表情から、先生方の努力を感じます。 ・フォローアップ・読書タイムの継続と、児童の自主性を大切にできた点はよかったと思います。 ・日々の授業が児童にとって、分かる・できる・使う・使いこなせる授業展開を意識して取り組みを継続してほしい。	・少人数だけに、体力作りに工夫がいるが、継続しておこなってほしい。 ・地域や他校との交流を積極的に行ったことがよかったと思います。 ・川上小学校との交流が、コロナ禍の中行うことができてよかった。	・保護者への、「早寝・早起き・朝ご飯」の啓発を行ったことはよいと思います。 ・避難訓練を繰り返し行い、異常時に少しでも落ち着いて行動できるようお願いします。	・図書室の環境整備や読み聞かせの充実、とても大切だと思います。 ・ホームページでの情報発信が多く、学校の様子を知ることができて良かったと思います。
に取組する適切さの検証結果	・目標や平均を上回るとともに、粘り強さが出てきており、成果として表れていると思います。 ・授業が「よく分かる」児童の率が高いことは素晴らしい。今後は、「使える」「使いこなせる」まで拡大していくことが、学習意欲と学力向上につながっていくと考えます。	・低学年で、「学校が楽しいと感じる」とのアンケートで、△が少数ではあるが少し気にかかる。 ・楽しく学校生活が送れており、非常に良かった。 ・高学年を中心に、リーダーとしての気配りができるように育ててほしい。 ・挨拶は、どんな場所でも誰にでもできるようになってほしい。	・目標や平均を上回った点は、良かったと思います。 ・朝ご飯をしっかりと食べる、また、外でしっかりと遊ぶことが体力向上に繋がるのでは。	・昨年度より学校の様子がよく分かり、大変嬉しく思います。 ・保護者アンケートは、保護者の考えを直接聞ける点良かったと思います。 ・取組の成果が、非常に現れていると思います。
改善年度法にに向けての意見	・家庭学習の定着と読書タイムの継続は、非常に大切だと思います。 ・先進校の見学や先行資料で、教員が授業研究を楽しみながら力量を高めていくことは大切である。 ・授業研究を充実させ、先生方のスキルアップを図ることが授業のレベルアップに繋げることが大切である。	・幼稚園との活動を通じての交流だけでなく、お互い授業研究を行うことで、見えないところが発見できたり、小1プロブレムの解消にもつながると考える。 ・これからも楽しく有意義な学校生活を送れる活動を行っていくことが、非常に大切だと思います。 ・「場を清める」「時を守る」「礼を尽くす」は大切なことであるので、教職員の共通理解のもと継続してもらいたい。	・年代の違いもあるのかもしれないが、子どもは大人の姿を反映している。社会の投影とも言えるので、保護者の子どもに対する関わりを進化してしてもらいたい。 ・課題が見られる50m走とシャトルランについては、平均値を目指した取組を頑張って下さい。	・引き続き、積極的な情報発信と地域との交流活動をお願いします。 ・地域の特色を生かした活動をよくやっていると感じています。 ・コロナ禍ではあるが、地域資源を生かした教育活動に取り組んでいただいている事に感謝します。

3 その他のご意見

- ・これからも、加太小学校の特色を生かした取組をお願いします。
- ・保護者会は子ども達のために活動している姿は見えている。しかし、市Pとの関連など外側からの動向も情報として入っているのだろうか。
- ・学校は子ども達のためにあると思っているが、加太小学校は、児童数が少ないなりに寄り添って考えてくれていると感じています。
- ・子ども達がここから巣立って、小さな池から大きな海に出る手助けを学校としてお願いします。
- ・学校全体として、目標達成に向かって良く取り組んでいると感じている。
- ・小規模特認校として成果を上げるため、地域の有識者グループによる講座を設置するなど、加太小学校の特徴をネットやパネルなどで発信していけるといいのではないかな。